

ユニ・チャーム、資生堂、ライオンの3社、 店頭販促物の物流を統合、共同配送を5月より開始

株式会社資生堂^{※1}は、ユニ・チャーム株式会社、ライオン株式会社と、小売店の店頭・売場で設置する販促物^{※2}の物流業務を統合し、2019年5月より共同配送を開始します。

共同配送の開始に向けて、3社共通の販促物管理システムを開発・導入し、愛知県小牧市にある外部の物流センターを活用します。

※1 資生堂の100%子会社である株式会社エフティ資生堂の販促物が対象

※2 売場に設置されている商品を陳列する販売什器や商品紹介のためのポップなど（別紙参照）

■ 背景

株式会社資生堂は、ユニ・チャーム株式会社、ライオン株式会社と、2016年から小売店での店頭メンテナンスを行う合弁会社、株式会社ジャパンリテールイノベーションを通じて、商品の陳列・店頭メンテナンス機能の強化などを目的として協業をしています。

店頭メンテナンスにとどまらず、新たな価値提案について協議を重ねるなかで、これまで各社独自に取り組んできた販促物の物流効率化を、昨今の物流環境の変化に対し、3社が共同で配送することで輸送効率を改善し、「物流環境負荷の低減」「小売店の業務負荷低減」につなげていきます。

今後も3社の戦略的協業取り組みにより新たな価値提案を行い、業界全体の発展に貢献することを目指します。

■ 物流統合がもたらす効果

<環境負荷低減>

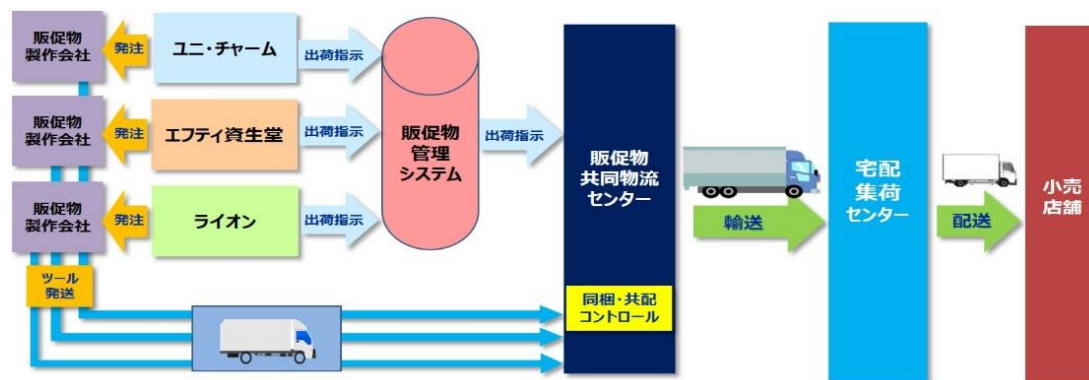
包装資材の共通化や同梱^{※3}配送、共同配送により配送トラック台数が減少し、資源の保護やCO₂排出量の削減など、環境負荷低減に貢献します。これらにより、物流コストの抑制・削減にも繋がっていきます。

<小売店の業務負荷低減>

同梱^{※3}配送や共同配送によって荷受け時間や、店舗における販促物の保管スペースが縮小され、バックヤードでの作業の効率化が見込まれます。

※3 同じ段ボールケースに2~3社の販促物が入っていること

■ 共同配送のスキーム(イメージ)



以上

<別紙>

販促物※2

※2 売場に設置されている商品を陳列する販売什器や商品紹介のためのポップなど

各社事例

ユニ・チャーム



商品現物ポップ

資生堂



吊下げ販売台

ライオン



商品紹介スタンドポップ

以下余白